

講義にあたって

講義の概要

- 科目名：数学 2 B
- 担当教官：辻井 正人（つじい まさと）数理学研究院・教授
e-mail: tsujii@math.kyushu-u.ac.jp（Tel: 092-642-2741）
- 教科書：「複素関数論」E. クライツィグ著（培風館）
- 授業内容：複素数に複素数を対応させる関数（複素関数）の理論を学ぶ。
- この講義の web page を

<http://www2.math.kyushu-u.ac.jp/~tsujii/education.html>

からリンクを張った場所におく。授業で使ったプリント等は できるだけ そこに置く。

講義の進め方

ほぼ毎回、最初の 10 分から 15 分で小テストを行う。内容は前回の講義および宿題の中から比較的容易な計算問題を出題する。

残りの時間は通常通り板書を中心とした講義を行う。講義は基本的に理論の講義であり、要点を解説する。集中して聞くこと。

講義の最後に宿題を指定する。講義内容が豊富であることから、授業中に演習問題に取り組む時間は限られる。宿題で補ってほしい。

評価について

基本的に期末テストの成績で評価する。ただし、小テストや中間テストの成績も加味する。

その他

- 勉強にはいろいろな方法があり、結果さえよければどのような方法で学んでもよい。しかし、平均的にいえば「予習- 講義- 復習（演習）」が最も効率が良いことは事実。
- 単に解法を覚えるのではなく、その背景にある理論を理解することが結局は労力が少なく、後々役に立つ知識が得られる。